
大分大学 「理工学部」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】

平成28年3月
株式会社 進研アド

企業対象 調査概要

1. 調査目的

2017年4月開設予定の大分大学「理工学部」新設構想に関して、卒業生の就職先として想定される企業の人材ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,988社
	回収数(回収率)	665社(33.5%)
調査時期		2015年11月24日(火)～2015年12月11日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・本社所在地・勤務先の主な業種・従業員数・正規社員の平均採用人数・本年度の採用予定数・採用したい学問系統・新学部・学科・コースの社会的必要性・新学部・学科・コース卒業生に対する採用意向・新学部・学科・コース卒業生の毎年の採用想定人数

企業対象 調査結果まとめ



企業対象 調査結果まとめ

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、大分大学の新学部である「理工学部」に対する需要を確認するための調査として設計したため、大分大学卒業生の就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、665企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は25.3%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人は63.8%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、「東京都」が26.8%と最も多い。次いで、大分大学の所在地である「大分県」が15.9%である。
- 回答企業の業種としては、「製造業」が24.1%と最も多く、次いで、「卸売・小売業」が15.9%と多い。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が40.2%で最も多い。次いで、「1,000名～5,000名未満」が17.1%と多く、100名以上の比較的規模が大きい企業が7割以上を占める。

回答企業の採用状況

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が21.5%で最も多い。次いで、「10名～20名未満」が19.5%、「5名～10名未満」が14.7%。採用人数が「0名」は0.8%と、毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が54.7%で最も多い。次いで「増やす」が29.6%で多く、昨年以上の採用が予定されている様子。
- 回答企業の採用したい学問系統は、理工学部の学問内容と関連する、「工学」は73.7%、「理学」は46.8%である。

企業対象 調査結果まとめ

新学部・学科・コースの社会的必要性

- 理工学部の社会的必要性についての評価は、いずれも8割を超えている。
- 社会的必要性についての評価が最も高いのは、「E. <工学科 機械コース> 理学の基礎に基づく最先端の機械工学とエネルギー・環境科学等を学び、高効率で環境低負荷な自動車、ロボットなど機械関連の設計・開発ができる技術者・研究者を養成する。」(95.8%)である。次いで、「F. <工学科 電気電子コース> 数学と物理の理学と電気電子工学を融合的に学び、電気エネルギーと電子情報工学の分野に関する基礎から応用までの理論や技術を修得するとともに、実験・演習による技術の体得、さらには数理的な思考方法もできる創造性と専門性を備えた電気系技術者・研究者を養成する。」(94.9%)である。

企業対象 調査結果まとめ

理工学部 工学科 機械コースの社会的必要性

- 理工学部 工学科 機械コースの社会的必要性についての評価は、95.8% (**637企業**)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・コースであると答えている。

理工学部 工学科 機械コース卒業生に対する採用意向

- 理工学部 工学科 機械コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、74.6% (**496企業**)と、予定している入学定員75名を大きく上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 本社所在地が「東京都」の企業の採用意向は、84.8% (178企業中、**151企業**)である。大分大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、64.7% (278企業中、**180企業**)である。いずれも、入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇業種別

- 理工学部 工学科 機械コース卒業生の就職先として想定される「製造業」の採用意向は、88.8% (160企業中、**142企業**)と予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名～500名未満」の企業の採用意向は、73.0% (267企業中、**195企業**)、「1,000名～5,000名未満」の企業の採用意向は85.1% (114企業中、**97企業**)と、会社の規模に関わらず予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用予定別

- 平成28年度の採用予定数を平成27年度と比較して「増やす」と答えた企業の採用意向は74.1% (197企業中、**146企業**)、「昨年度並み」と答えた企業の採用意向は76.9% (364企業中、**280企業**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- 積極的に採用したい学問系統が「理学」の企業の採用意向は、83.0% (311企業中、**258企業**)、「工学」は81.0% (490企業中、**397企業**)と予定している入学定員数を上回っている。

◇社会的必要性別【理工学部 工学科 機械コース】

- 理工学部 工学科 機械コースを「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、76.5% (637企業中、**487企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

理工学部 工学科 機械コース卒業生の毎年の採用想定人数

- 理工学部 工学科 機械コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた496企業へ、理工学部 工学科 機械コース卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は733名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

理工学部 工学科 電気電子コースの社会的必要性

- 理工学部 工学科 電気電子コースの社会的必要性についての評価は、94.9% (**631企業**)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・コースであると答えている。

理工学部 工学科 電気電子コース卒業生に対する採用意向

- 理工学部 工学科 電気電子コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、75.9% (**505企業**)と、予定している入学定員75名を大きく上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 本社所在地が「東京都」の企業の採用意向は、85.4% (178企業中、**152企業**)である。大分大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、67.6% (278企業中、**188企業**)である。いずれも、入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇業種別

- 理工学部 工学科 電気電子コース卒業生の就職先として想定される「製造業」の採用意向は、86.9% (160企業中、**139企業**)、「情報通信業」の採用意向は、95.6% (91企業中、**87企業**)と予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名～500名未満」の企業の採用意向は、75.3% (267企業中、**201企業**)、「1,000名～5,000名未満」の企業の採用意向は86.8% (114企業中、**99企業**)と、会社の規模に関わらず予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用予定別

- 平成28年度の採用予定数を平成27年度と比較して「増やす」と答えた企業の採用意向は75.6% (197企業中、**149企業**)、「昨年度並み」と答えた企業の採用意向は78.0% (364企業中、**284企業**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- 積極的に採用したい学問系統が「理学」の企業の採用意向は、86.5% (311企業中、**269企業**)、「工学」は83.5% (490企業中、**409企業**)と予定している入学定員数を上回っている。

◇社会的必要性別【理工学部 工学科 電気電子コース】

- 理工学部 工学科 電気電子コースを「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、78.4% (631企業中、**495企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

理工学部 工学科 電気電子コース卒業生の毎年の採用想定人数

- 理工学部 工学科 電気電子コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた505企業へ、理工学部 工学科 電気電子コース卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は731名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコースの社会的必要性

- 理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコースの社会的必要性についての評価は、92.6% (**616企業**)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・コースであると答えている。

理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生に対する採用意向

- 理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、57.1% (**380企業**)と、予定している入学定員35名を大きく上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 本社所在地が「東京都」の企業の採用意向は、65.2% (178企業中、**116企業**)である。大分大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、50.0% (278企業中、**139企業**)である。いずれも、入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇業種別

- 理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生の就職先として想定される「製造業」の採用意向は、55.0% (160企業中、**88企業**)、「情報通信業」の採用意向は、74.7% (91企業中、**68企業**)と予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名～500名未満」の企業の採用意向は、55.1% (267企業中、**147企業**)、「1,000名～5,000名未満」の企業の採用意向は66.7% (114企業中、**76企業**)と、会社の規模に関わらず予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用予定別

- 平成28年度の採用予定数を平成27年度と比較して「増やす」と答えた企業の採用意向は60.9% (197企業中、**120企業**)、「昨年度並み」と答えた企業の採用意向は57.1% (364企業中、**208企業**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- 積極的に採用したい学問系統が「工学」の企業の採用意向は、58.4% (490企業中、**286企業**)、「医療技術・リハビリテーション学」は89.3% (56企業中、**50企業**)と、ともに予定している入学定員数を上回っている。

◇社会的必要性別【理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース】

- 理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコースを「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、59.6% (616企業中、**367企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生の毎年の採用想定人数

- 理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生を「採用したいと思う」と答えた380企業へ、理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は458名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

理工学部 工学科 建築学コースの社会的必要性

- 理工学部 工学科 建築学コースの社会的必要性についての評価は、92.3% (614企業)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・コースであると答えている。

理工学部 工学科 建築学コース卒業生に対する採用意向

- 理工学部 工学科 建築学コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、58.8% (391企業)と、予定している入学定員50名を大きく上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 本社所在地が「東京都」の企業の採用意向は、66.9% (178企業中、119企業)である。大分大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、52.5% (278企業中、146企業)である。いずれも、入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇業種別

- 理工学部 工学科 建築学コース卒業生の就職先として想定される「製造業」の採用意向は、33.8% (160企業中、54企業)と予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名～500名未満」の企業の採用意向は、55.4% (267企業中、148企業)、「1,000名～5,000名未満」の企業の採用意向は64.9% (114企業中、74企業)と、会社の規模に関わらず予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用予定別

- 平成28年度の採用予定数を平成27年度と比較して「増やす」と答えた企業の採用意向は63.5% (197企業中、**125企業**)、「昨年度並み」と答えた企業の採用意向は58.5% (364企業中、**213企業**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- 積極的に採用したい学問系統が「理学」の企業の採用意向は、61.7% (311企業中、**192企業**)、「工学」は59.8% (490企業中、**293企業**)と予定している入学定員数を上回っている。

◇社会的必要性別【理工学部 工学科 建築学コース】

- 理工学部 工学科 建築学コースを「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、62.2% (614企業中、**382企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

理工学部 工学科 建築学コース卒業生の毎年の採用想定人数

- 理工学部 工学科 建築学コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた391企業へ、理工学部 工学科 建築学コース卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は562名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

理工学部 理工学科 数理科学コースの社会的必要性

- 理工学部 理工学科 数理科学コースの社会的必要性についての評価は、88.9% (**591企業**)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・コースであると答えている。

理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生に対する採用意向

- 理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、56.5% (**376企業**)と、予定している入学定員15名を大きく上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 本社所在地が「東京都」の企業の採用意向は、68.5% (178企業中、**122企業**)である。大分大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、51.1% (278企業中、**142企業**)である。いずれも、入学定員数を大きく上回る採用意向がみられた。

◇業種別

- 理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生の就職先として想定される「情報通信業」の採用意向は、86.8% (91企業中、**79企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名～500名未満」の企業の採用意向は、54.7% (267企業中、**146企業**)、「1,000名～5,000名未満」の企業の採用意向は64.0% (114企業中、**73企業**)と、会社の規模に関わらず予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用予定別

- 平成28年度の採用予定数を平成27年度と比較して「増やす」と答えた企業の採用意向は63.5% (197企業中、**125企業**)、「昨年度並み」と答えた企業の採用意向は56.0% (364企業中、**204企業**)と、いずれも予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- 積極的に採用したい学問系統が「理学」の企業の採用意向は、74.0% (311企業中、**230企業**)、「工学」は56.1% (490企業中、**275企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇社会的必要性別【理工学部 理工学科 数理科学コース】

- 理工学部 理工学科 数理科学コースを「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、61.9% (591企業中、**366企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生の毎年の採用想定人数

- 理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた376企業へ、理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は453名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

理工学部 理工学科 知能情報システムコースの社会的必要性

- 理工学部 理工学科 知能情報システムコースの社会的必要性についての評価は、92.2% (**613企業**)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・コースであると答えている。

理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生に対する採用意向

- 理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、64.5% (**429企業**)と、予定している入学定員65名を大きく上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 本社所在地が「東京都」の企業の採用意向は、70.8% (178企業中、**126企業**)である。大分大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、59.4% (278企業中、**165企業**)である。いずれも、入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇業種別

- 理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生の就職先として想定される「情報通信業」の採用意向は、93.4% (91企業中、**85企業**)と予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名～500名未満」の企業の採用意向は、64.0% (267企業中、**171企業**)、「1,000名～5,000名未満」の企業の採用意向は78.9% (114企業中、**90企業**)と、会社の規模に関わらず予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用予定別

- 平成28年度の採用予定数を平成27年度と比較して「増やす」と答えた企業の採用意向は72.1% (197企業中、**142企業**)、「昨年度並み」と答えた企業の採用意向は63.5% (364企業中、**231企業**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- 積極的に採用したい学問系統が「理学」の企業の採用意向は、79.1% (311企業中、**246企業**)、「工学」は66.1% (490企業中、**324企業**)と予定している入学定員数を上回っている。

◇社会的必要性別【理工学部 理工学科 知能情報システムコース】

- 理工学部 理工学科 知能情報システムコースを「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、68.7% (613企業中、**421企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生の毎年の採用想定人数

- 理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生を「採用したいと思う」と答えた429企業へ、理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は567名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

理工学部 理工学科 自然科学コースの社会的必要性

- 理工学部 理工学科 自然科学コースの社会的必要性についての評価は、86.8% (**577企業**)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・コースであると答えている。

理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生に対する採用意向

- 理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、53.4% (**355企業**)と、予定している入学定員15名を大きく上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 本社所在地が「東京都」の企業の採用意向は、61.8% (178企業中、**110企業**)である。大分大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、48.6% (278企業中、**135企業**)である。いずれも、入学定員数を大きく上回る採用意向がみられた。

◇業種別

- 理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生の就職先として想定される「製造業」の採用意向は、41.9% (160企業中、**67企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名～500名未満」の企業の採用意向は、49.4% (267企業中、**132企業**)、「1,000名～5,000名未満」の企業の採用意向は60.5% (114企業中、**69企業**)と、会社の規模に関わらず予定している入学定員数を上回る採用意向がみられた。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用予定別

- 平成28年度の採用予定数を平成27年度と比較して「増やす」と答えた企業の採用意向は59.4% (197企業中、**117企業**)、「昨年度並み」と答えた企業の採用意向は51.9% (364企業中、**189企業**)と、いずれも予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- 積極的に採用したい学問系統が「理学」の企業の採用意向は、66.6% (311企業中、**207企業**)、「工学」は52.4% (490企業中、**257企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇社会的必要性別【理工学部 理工学科 自然科学コース】

- 理工学部 理工学科 自然科学コースを「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、58.9% (577企業中、**340企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生の毎年の採用想定人数

- 理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた355企業へ、理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は415名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

理工学部 理工学科 応用化学コースの社会的必要性

- 理工学部 理工学科 応用化学コースの社会的必要性についての評価は、91.7% (**610企業**)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科・コースであると答えている。

理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生に対する採用意向

- 理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、59.7% (**397企業**)と、予定している入学定員55名を大きく上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 本社所在地が「東京都」の企業の採用意向は、63.5% (178企業中、**113企業**)である。大分大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、53.6% (278企業中、**149企業**)である。いずれも、入学定員数を上回る採用意向がみられた。

◇業種別

- 理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生の就職先として想定される「製造業」の採用意向は、66.9% (160企業中、**107企業**)と予定している入学定員数を上回る採用意向がみられる。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名～500名未満」の企業の採用意向は、57.3% (267企業中、**153企業**)、「1,000名～5,000名未満」の企業の採用意向は69.3% (114企業中、**79企業**)と、会社の規模に関わらず予定している入学定員数を上回る採用意向がみられる。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用予定別

- 平成28年度の採用予定数を平成27年度と比較して「増やす」と答えた企業の採用意向は59.9% (197企業中、**118企業**)、「昨年度並み」と答えた企業の採用意向は60.7% (364企業中、**221企業**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- 積極的に採用したい学問系統が「理学」の企業の採用意向は、75.9% (311企業中、**236企業**)、「工学」は60.0% (490企業中、**294企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇社会的必要性別【理工学部 理工学科 応用化学コース】

- 理工学部 理工学科 応用化学コースを「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、63.4% (610企業中、**387企業**)と予定している入学定員数を大きく上回っている。

理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生の毎年の採用想定人数

- 理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生を「採用したいと思う」と答えた397企業へ、理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は469名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

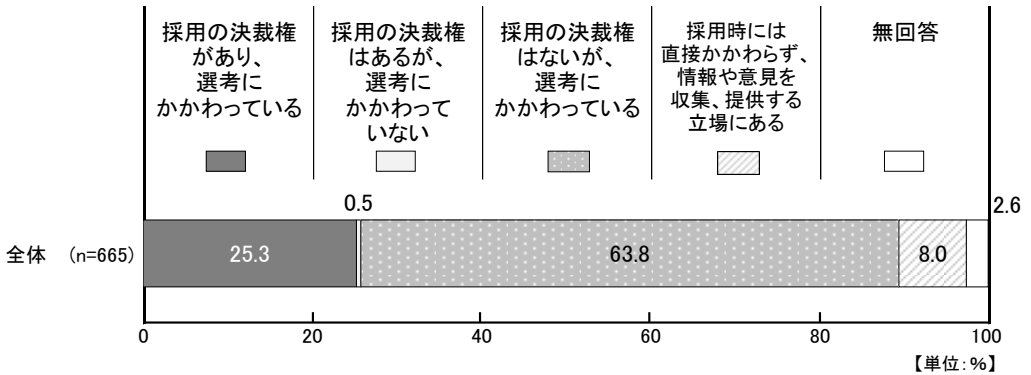
企業対象 調査結果



回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

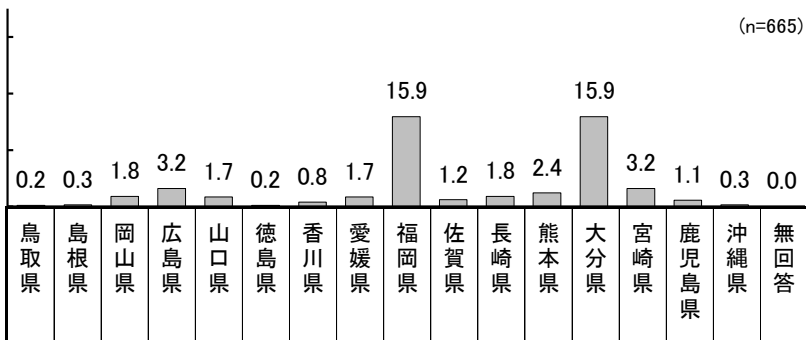
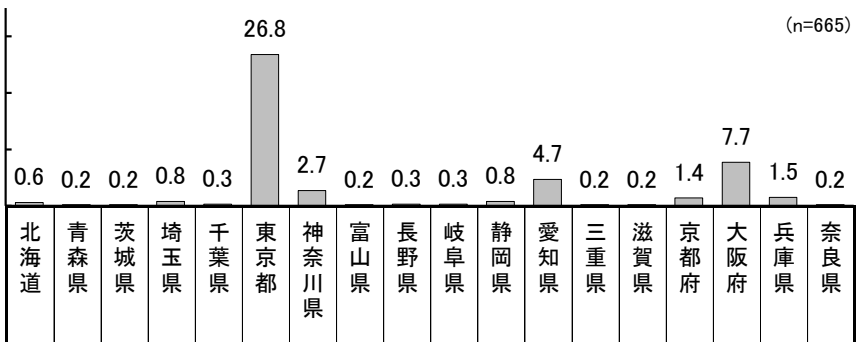
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

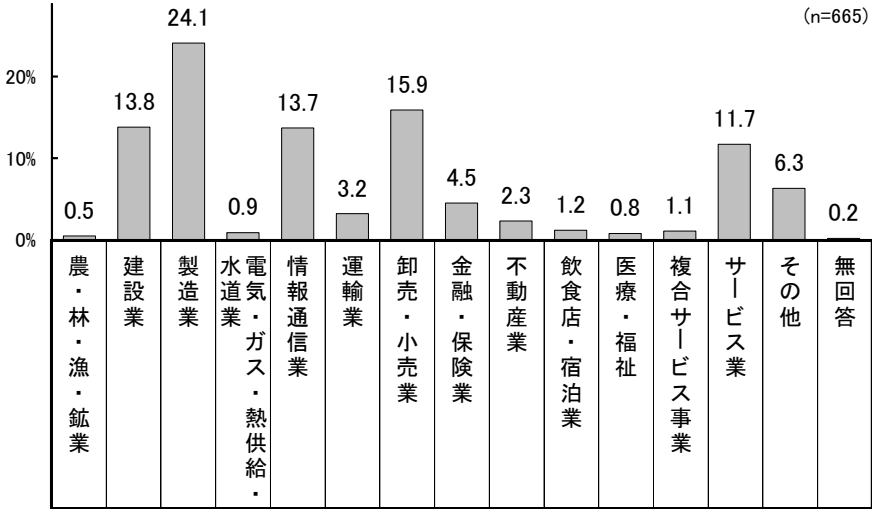
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答企業(回答者)の属性(勤務先の主な業種／従業員数)

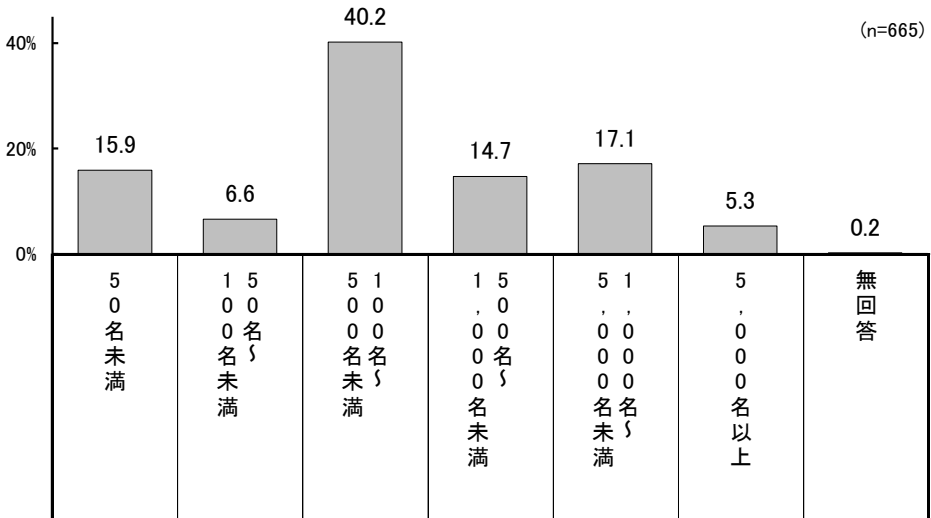
■勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

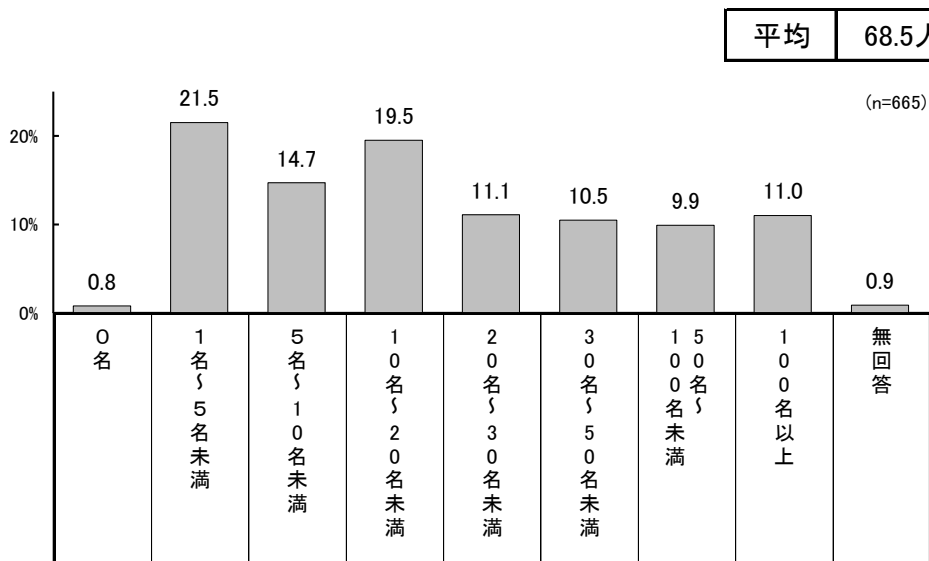
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

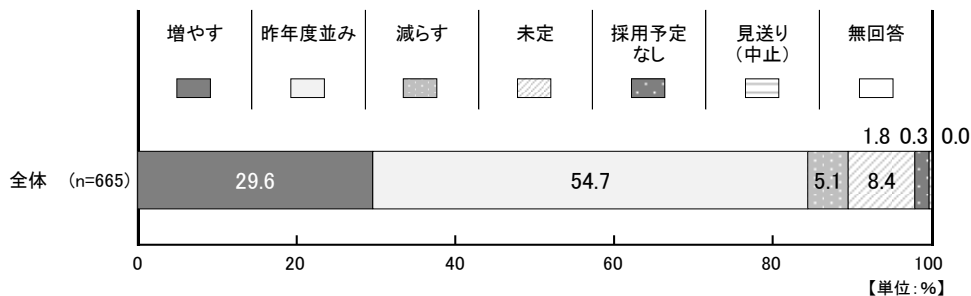
■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。



■本年度の採用予定数

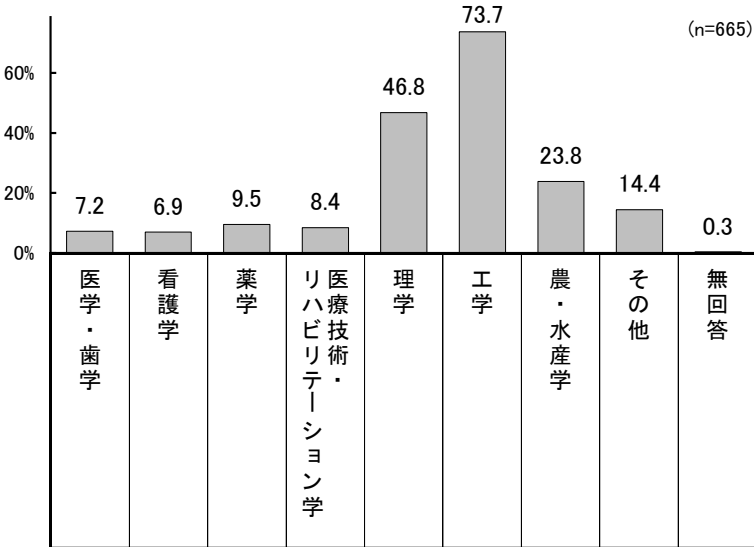
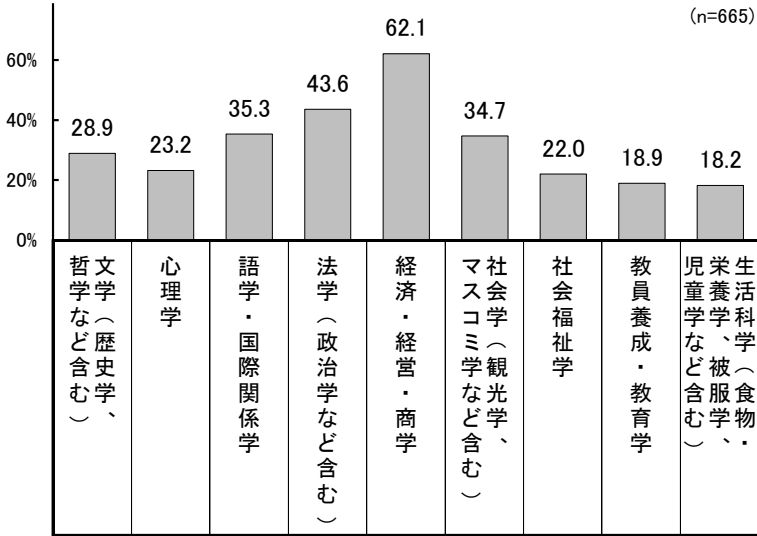
Q6. 貴社・貴団体の平成28年度の採用予定数は、平成27年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



採用したい学問系統

■採用したい学問系統

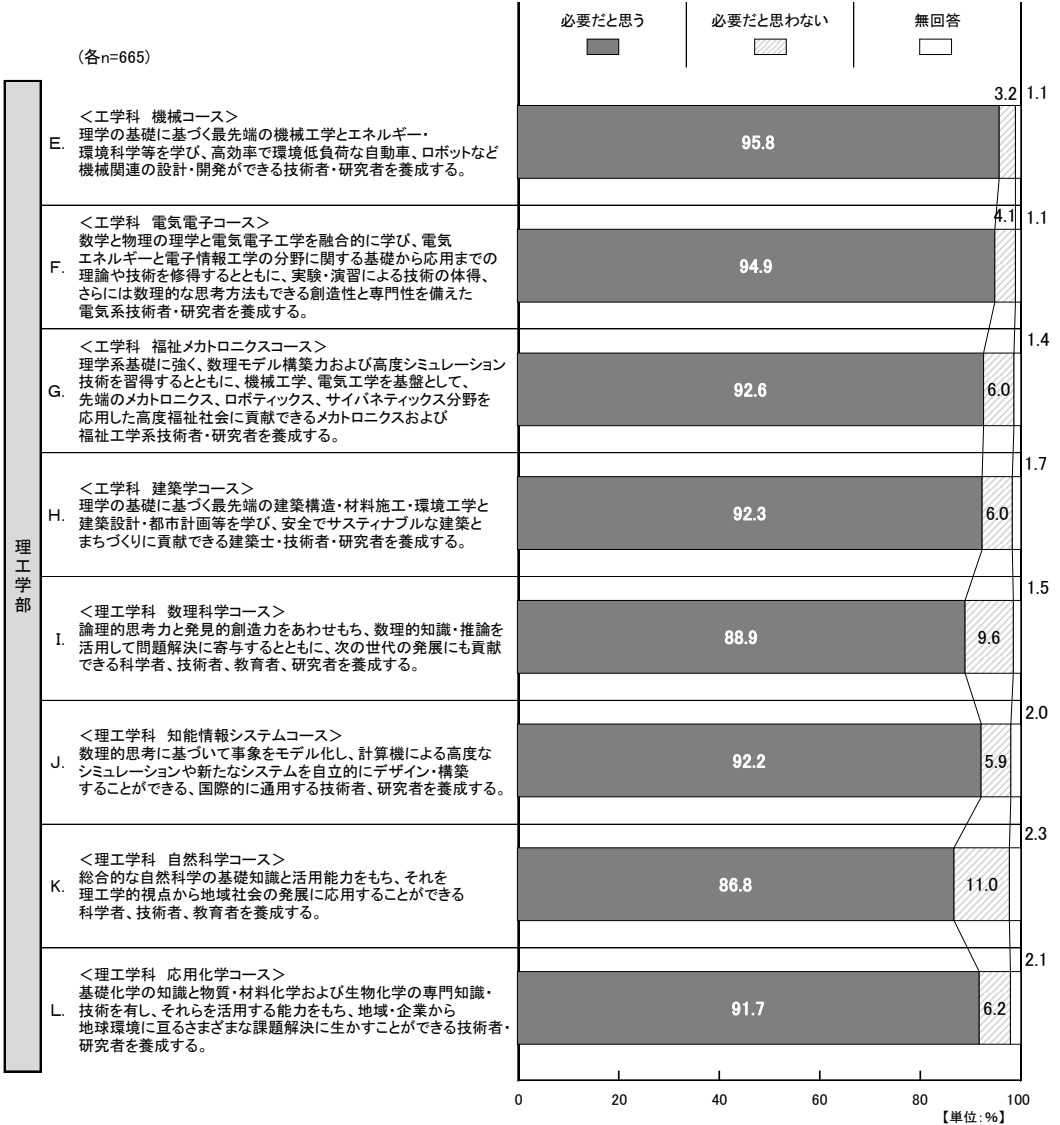
Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)



新学部・学科・コースの社会的必要性

■新学部・学科・コースの社会的必要性

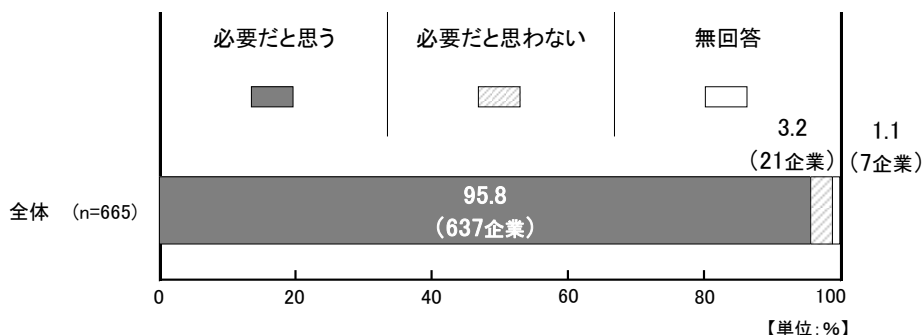
Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



理工学部 工学科 機械コースの社会的必要性／ 採用意向／毎年の採用想定人数

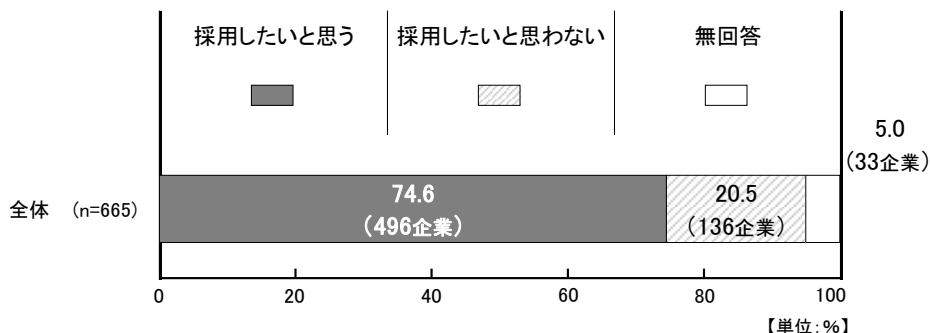
■理工学部 工学科 機械コースの社会的必要性

Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



■理工学部 工学科 機械コース卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた496企業のみ抽出

■理工学部 工学科 機械コース卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	⇒	計※ 毎年の採用 想定人数・
		%								
全体	496	22.0	11.1	3.6	0.4	3.0	2.0	55.8	⇒	733
		名	109	55	18	2	15	10		

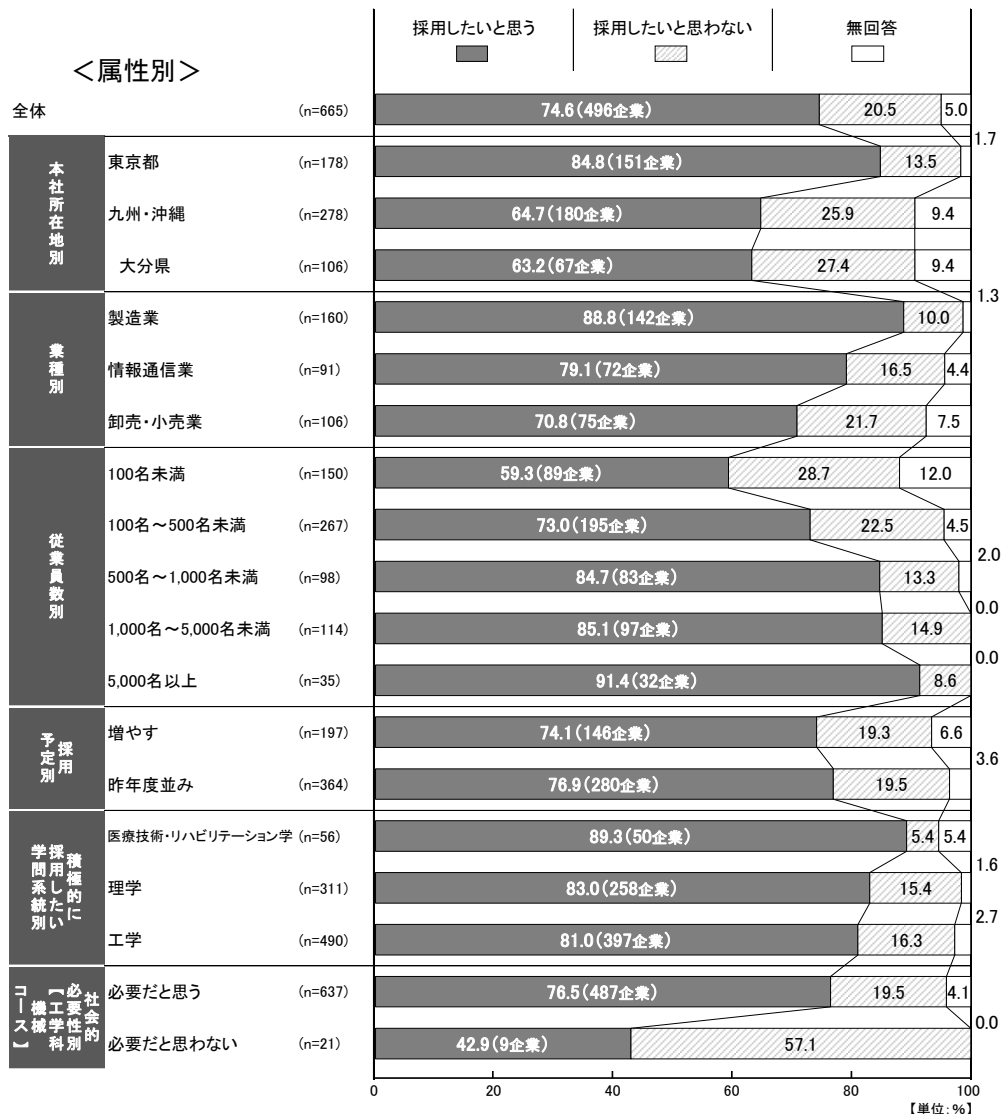
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

理工学部 工学科 機械コース卒業生の採用意向

<属性別>

■理工学部 工学科 機械コース卒業生の採用意向

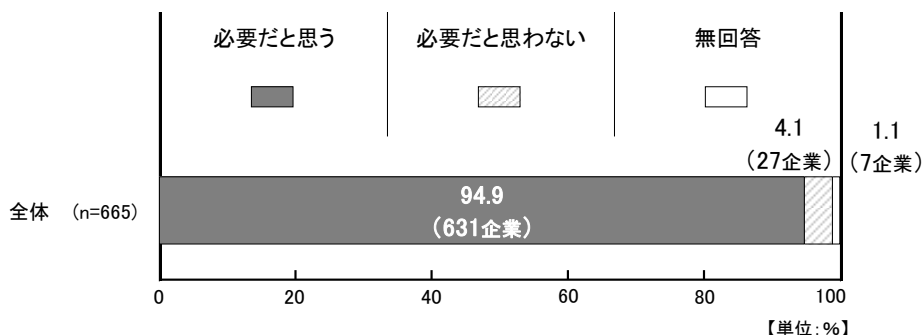
Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



理工学部 工学科 電気電子コースの社会的必要性／採用意向／毎年の採用想定人数

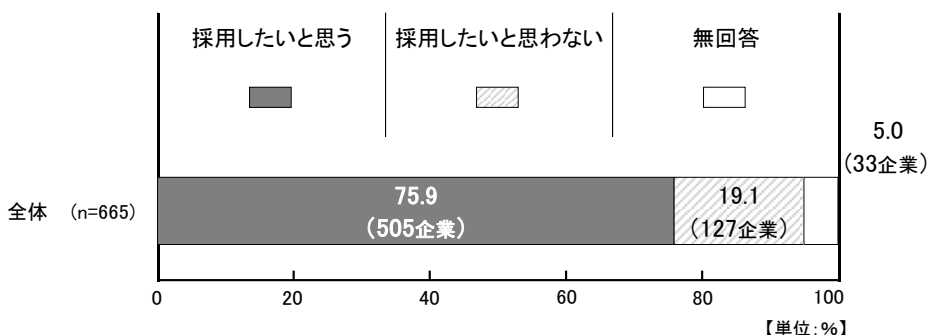
■理工学部 工学科 電気電子コースの社会的必要性

Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



■理工学部 工学科 電気電子コース卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた505企業のみ抽出

■理工学部 工学科 電気電子コース卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	⇒	計※ 毎年の採用 想定人数・
		全体	505	% 21.4	10.9	3.8	0.6	3.4		
		名	108	55	19	3	17	7		289

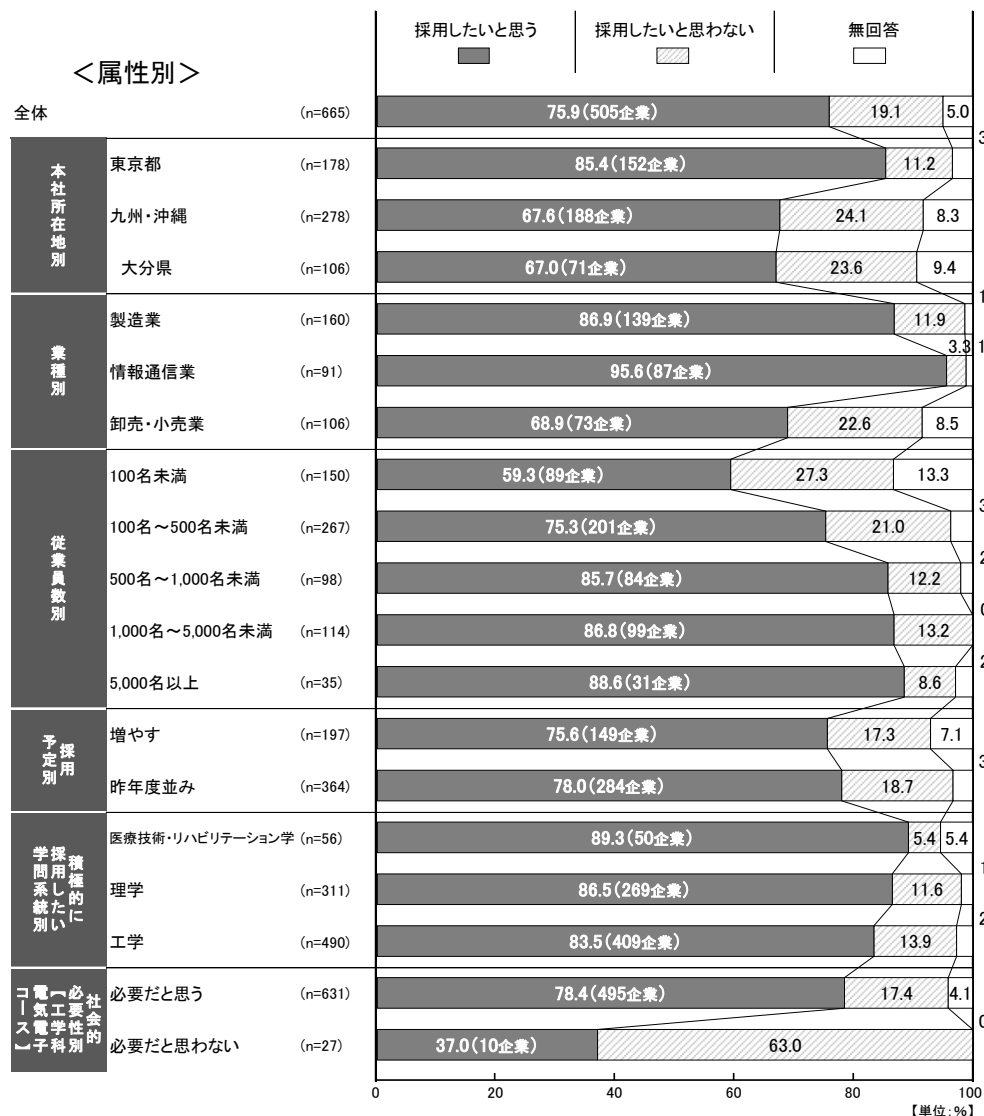
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

理工学部 工学科 電気電子コース卒業生の採用意向

<属性別>

■理工学部 工学科 電気電子コース卒業生の採用意向

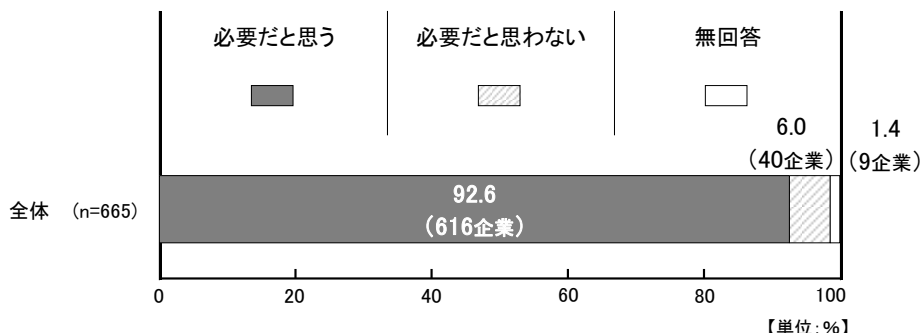
Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコースの社会的必要性／採用意向／毎年の採用想定人数

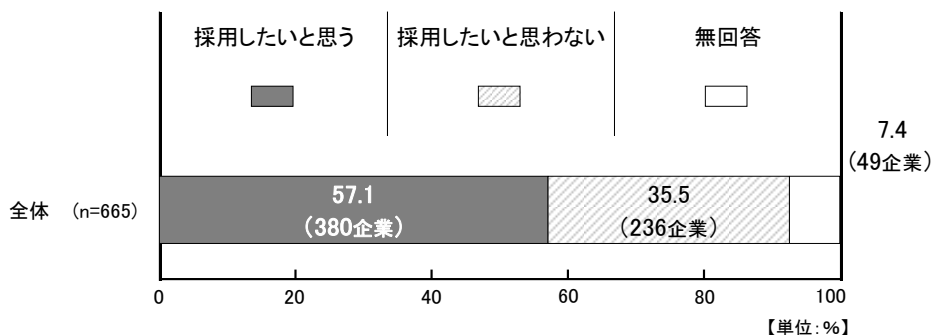
■理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコースの社会的必要性

Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



■理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた380企業のみ抽出

■理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

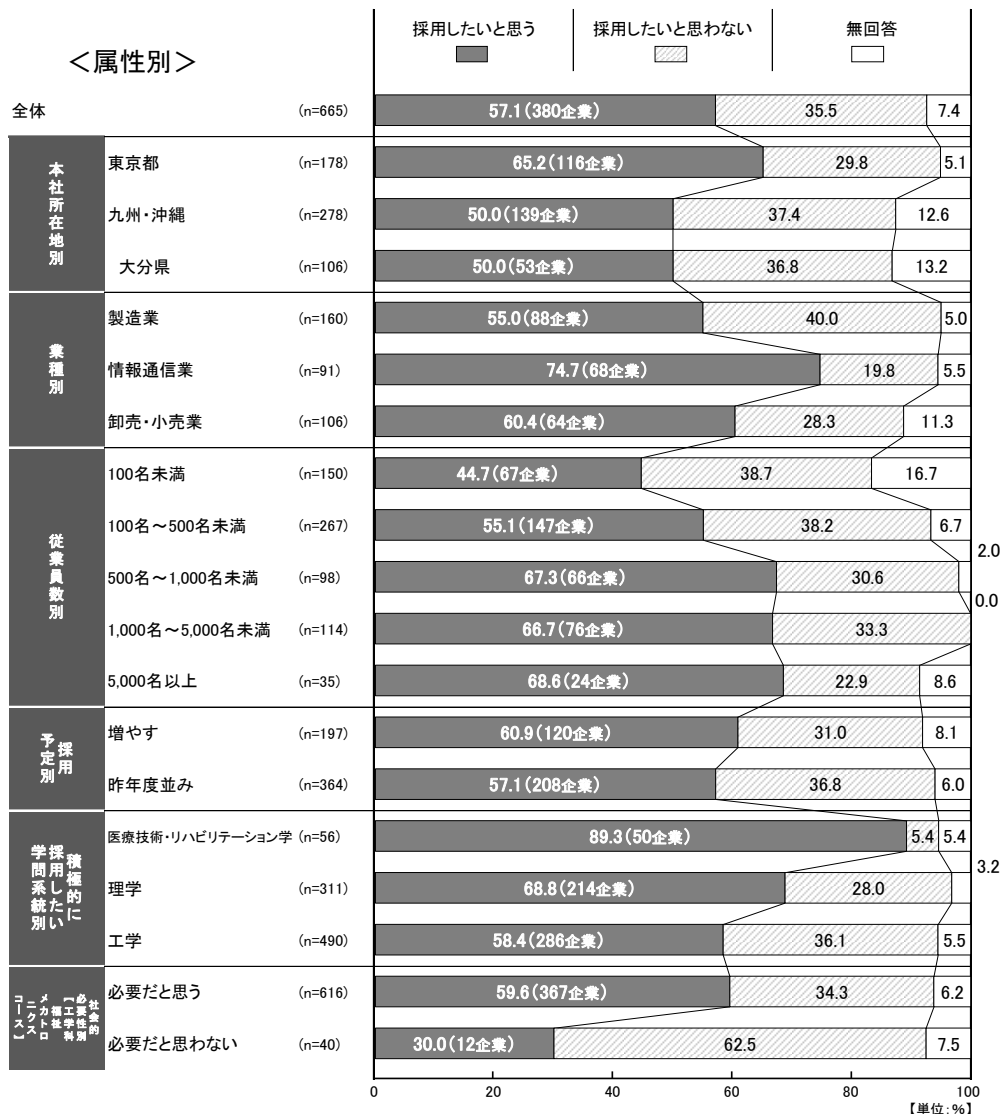
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	⇒	計※ 毎年の採用 想定人数・
		%								
全体	380	22.9	6.1	2.1	0.0	1.8	0.5	64.7	⇒	458
		名	87	23	8	0	7	2		

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース 卒業生の採用意向 <属性別>

■理工学部 工学科 福祉メカトロニクスコース卒業生の採用意向

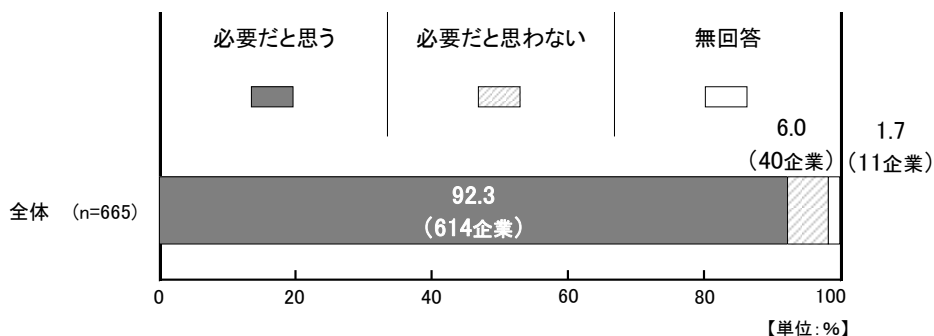
Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



理工学部 工学科 建築学コースの社会的必要性／ 採用意向／毎年の採用想定人数

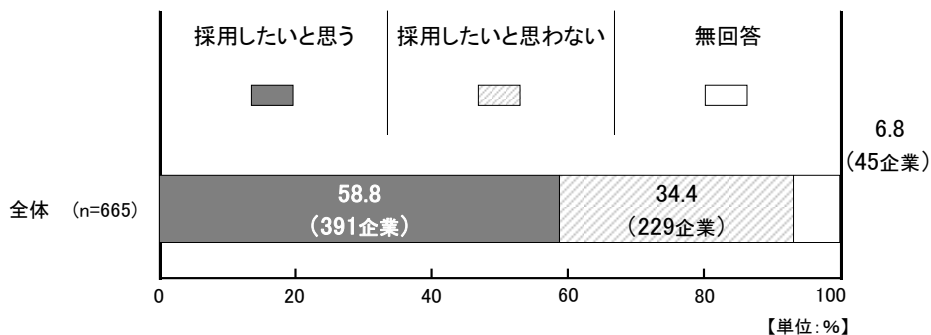
■理工学部 工学科 建築学コースの社会的必要性

Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



■理工学部 工学科 建築学コース卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた391企業のみ抽出

■理工学部 工学科 建築学コース卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	⇒	計 ※ 毎年の採用 想定人数・
		%								
全体	391	22.0	10.2	4.3	0.3	1.8	2.0	57.8	⇒	562
		名	86	40	17	1	7	8		

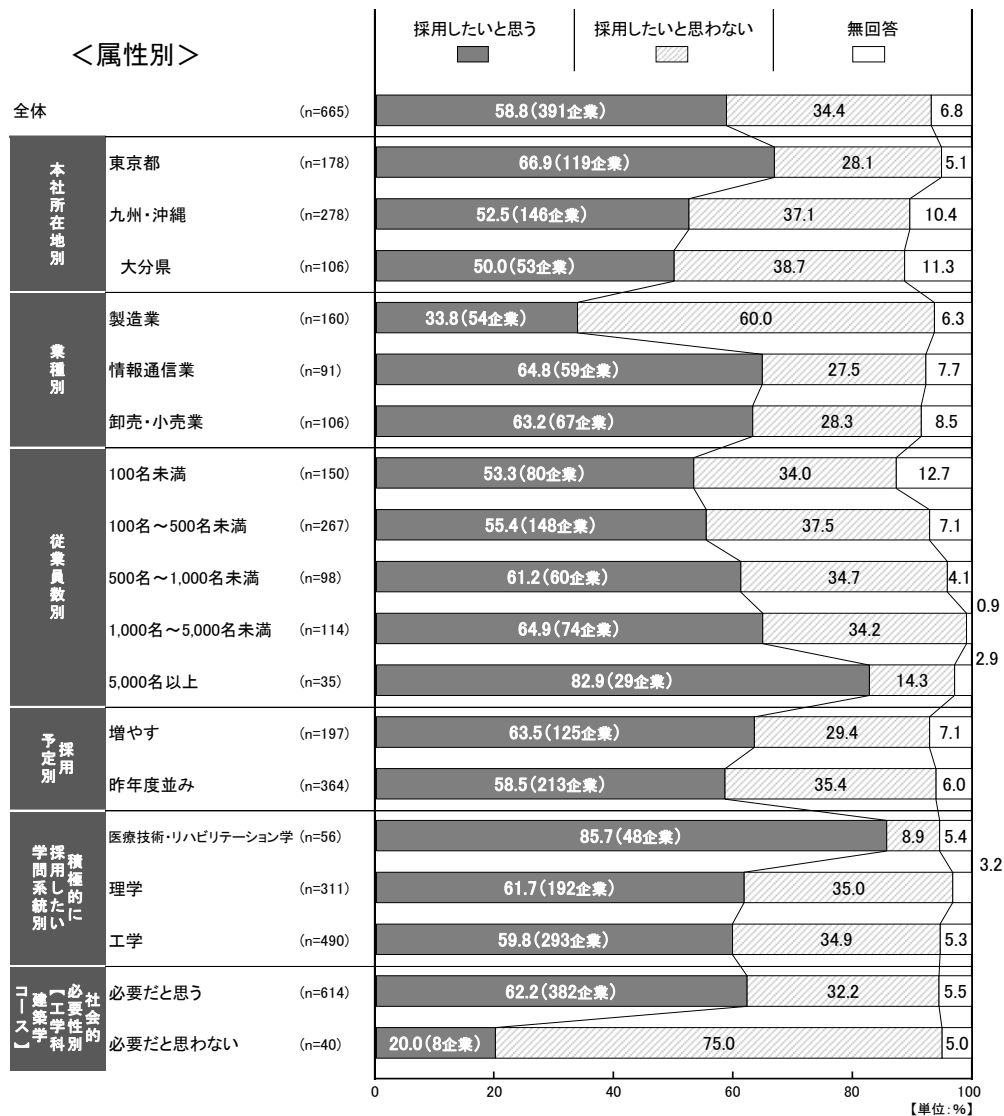
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

理工学部 工学科 建築学コース卒業生の採用意向

<属性別>

■理工学部 工学科 建築学コース卒業生の採用意向

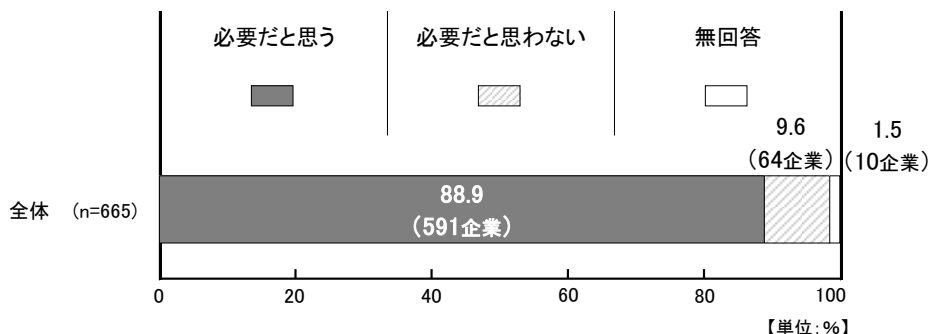
Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



理工学部 理工学科 数理科学コースの社会的必要性／採用意向／毎年の採用想定人数

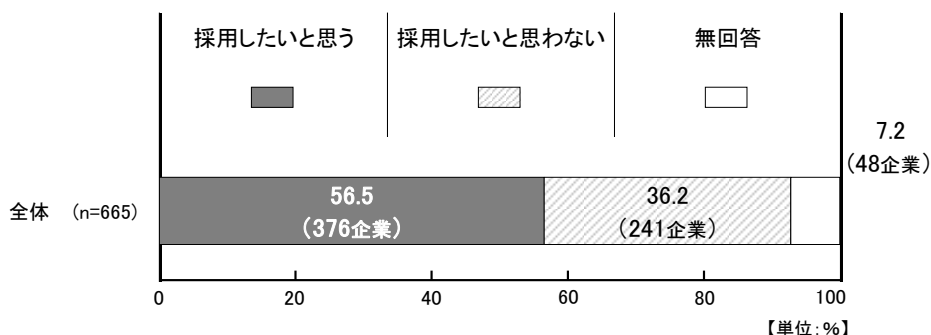
■理工学部 理工学科 数理科学コースの社会的必要性

Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



■理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた376企業のみ抽出

■理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	⇒	計※ 毎年の採用 想定人数・
		%								
全体	376	20.5	6.9	2.9	0.3	0.8	0.5	67.0	⇒	453
		名	77	26	11	1	3	2		

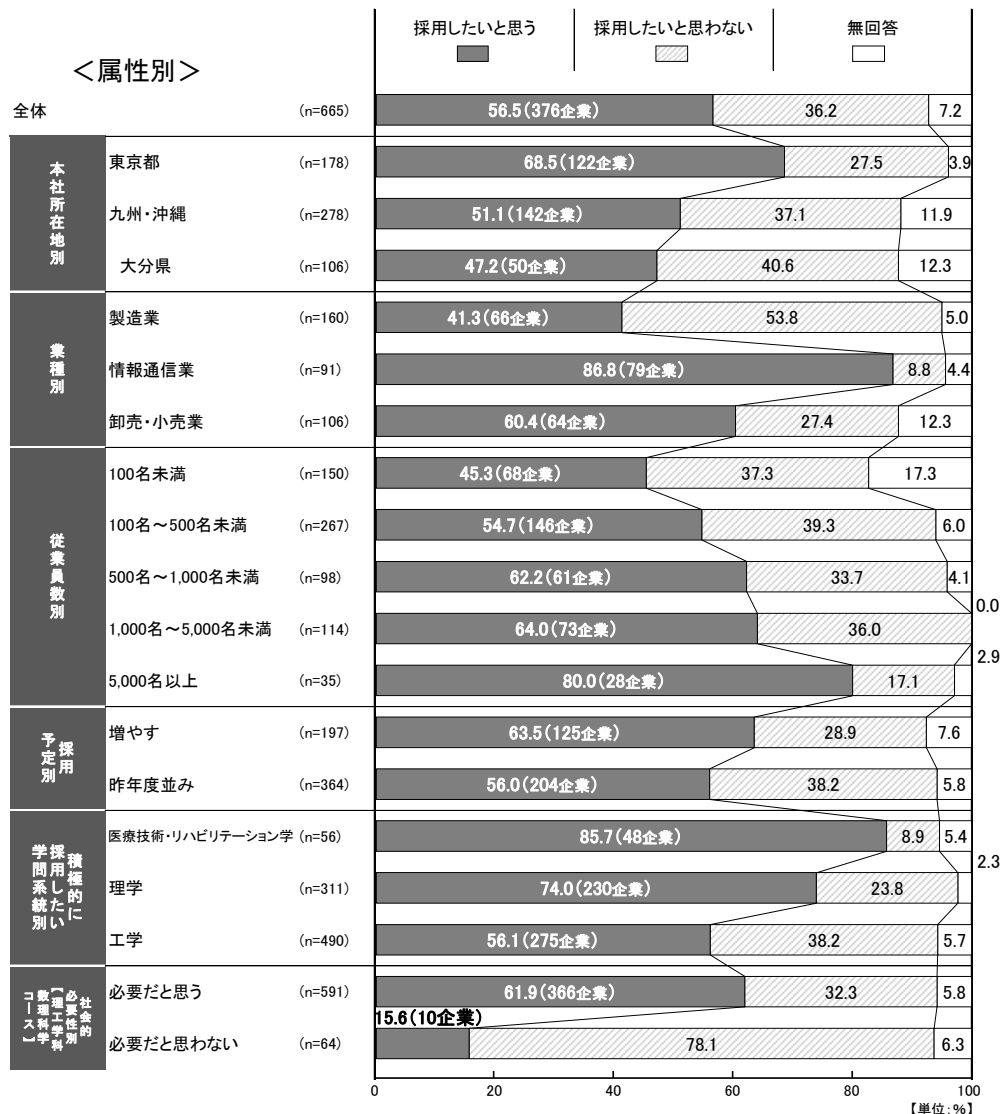
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生の採用意向

<属性別>

■理工学部 理工学科 数理科学コース卒業生の採用意向

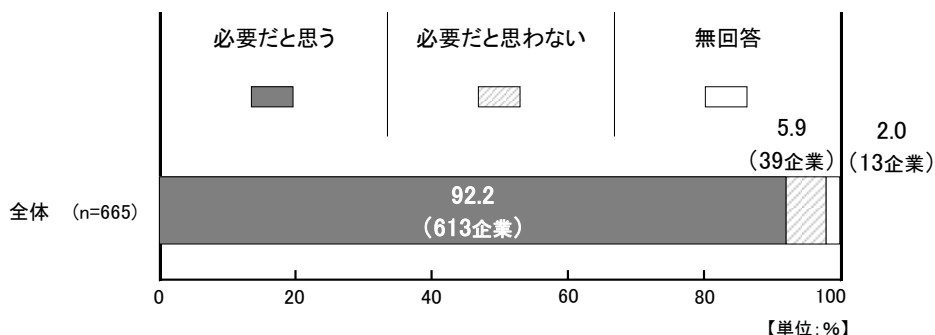
Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



理工学部 理工学科 知能情報システムコースの社会的必要性／採用意向／毎年の採用想定人数

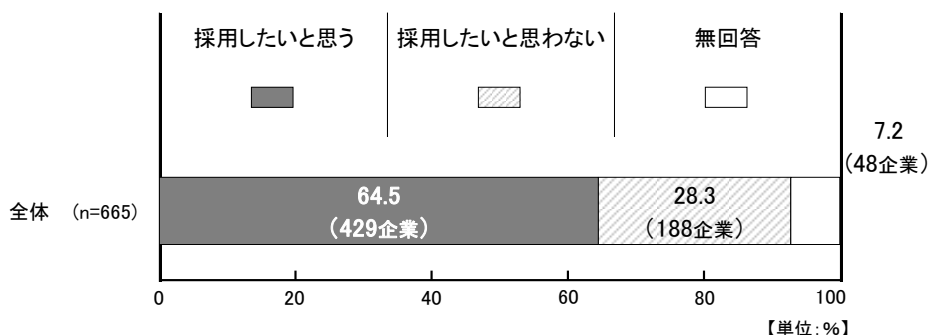
■理工学部 理工学科 知能情報システムコースの社会的必要性

Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



■理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた429企業のみ抽出

■理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

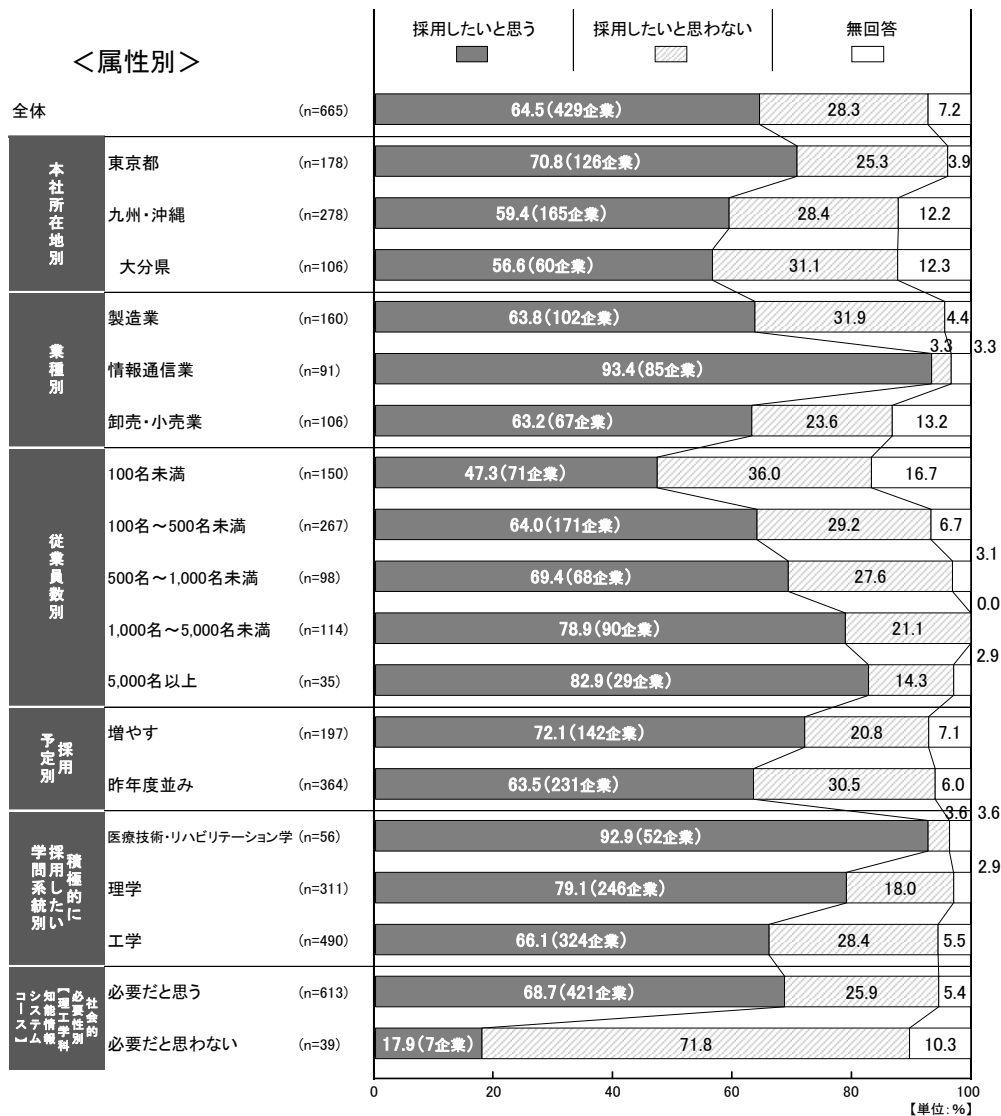
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	⇒	計※ 毎年の採用 想定人数・
		%								
全体	429	18.9	8.2	3.0	0.2	2.1	1.2	64.8	⇒	567
		名	81	35	13	1	9	5		

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生の採用意向 <属性別>

■理工学部 理工学科 知能情報システムコース卒業生の採用意向

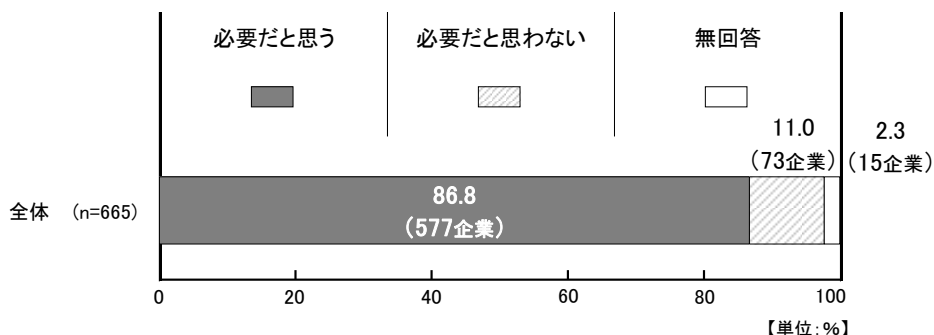
Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



理工学部 理工学科 自然科学コースの社会的必要性／採用意向／毎年の採用想定人数

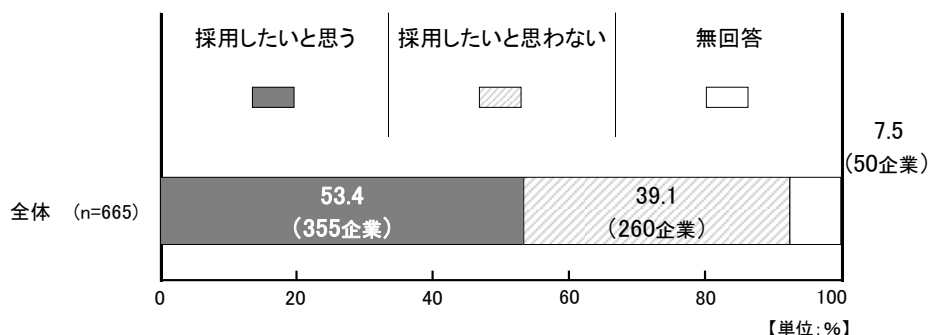
■理工学部 理工学科 自然科学コースの社会的必要性

Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



■理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた355企業のみ抽出

■理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

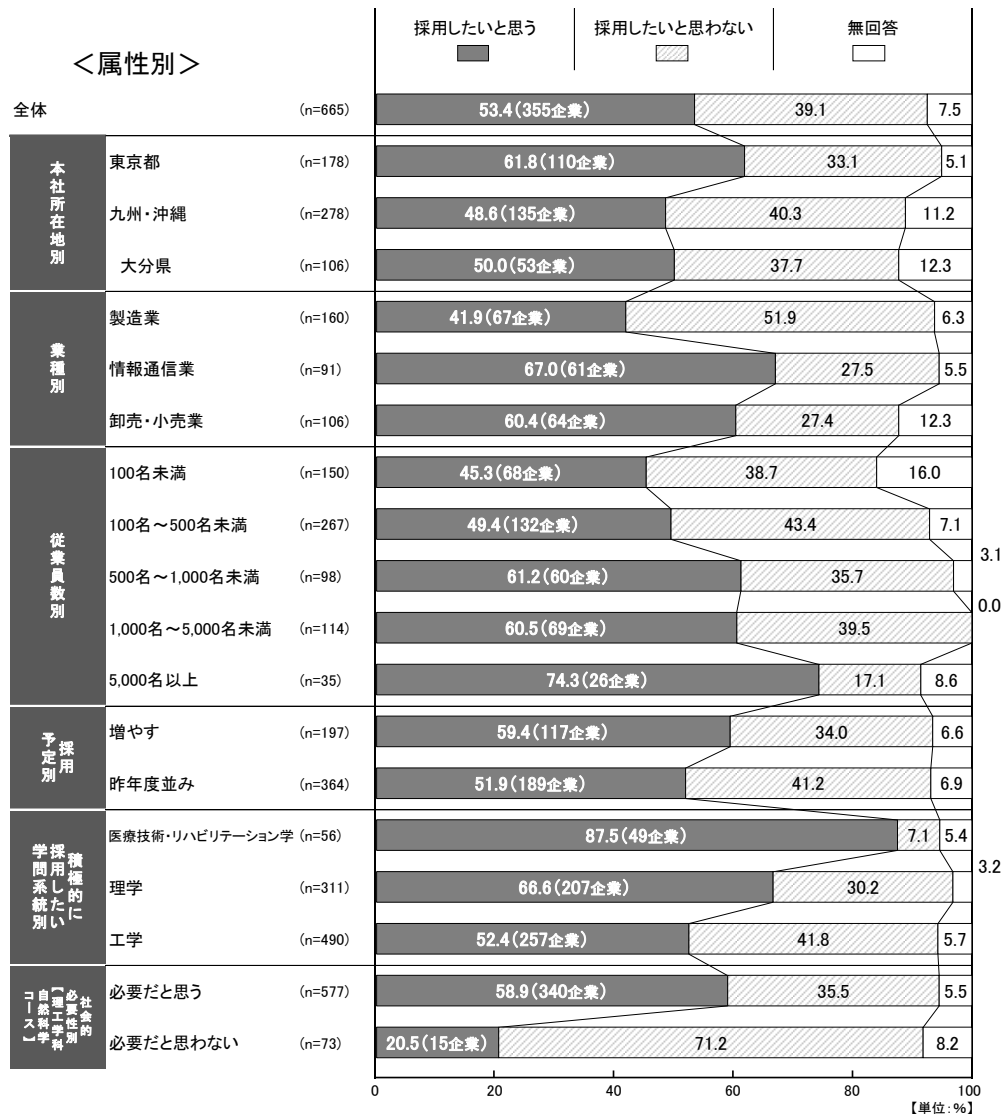
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	⇒	計※ 毎年の採用 想定人数・
		%								
全体	%	21.7	4.8	1.4	0.3	0.8	0.8	67.6	⇒	415
	名	77	17	5	1	3	3	240		

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生の採用意向 <属性別>

■理工学部 理工学科 自然科学コース卒業生の採用意向

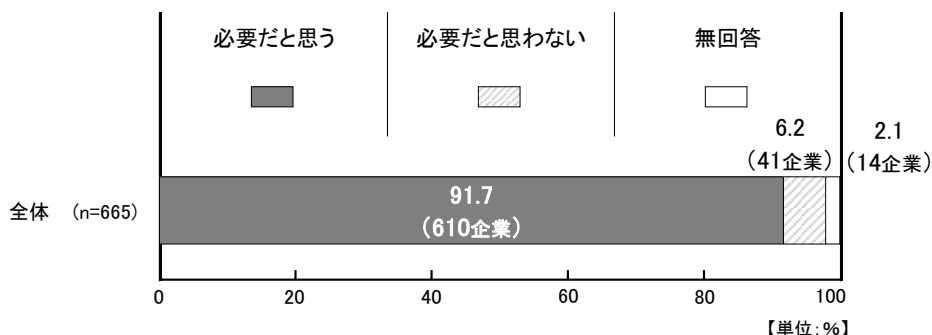
Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



理工学部 理工学科 応用化学コースの社会的必要性／採用意向／毎年の採用想定人数

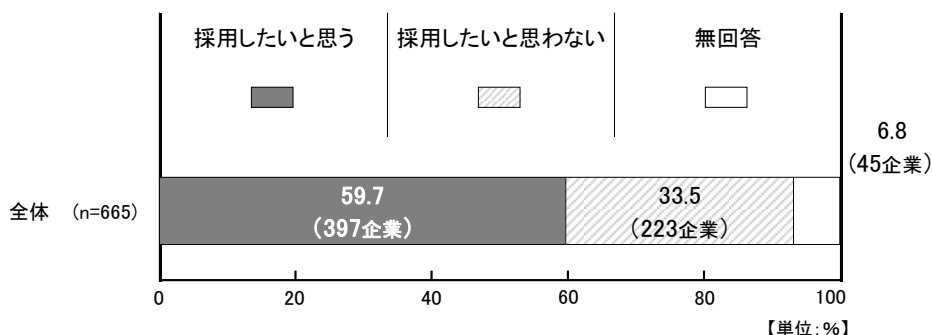
■理工学部 理工学科 応用化学コースの社会的必要性

Q8. 新しい「事業共創学科」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の経済学部と、「理工学部」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)



■理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた397企業のみ抽出

■理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

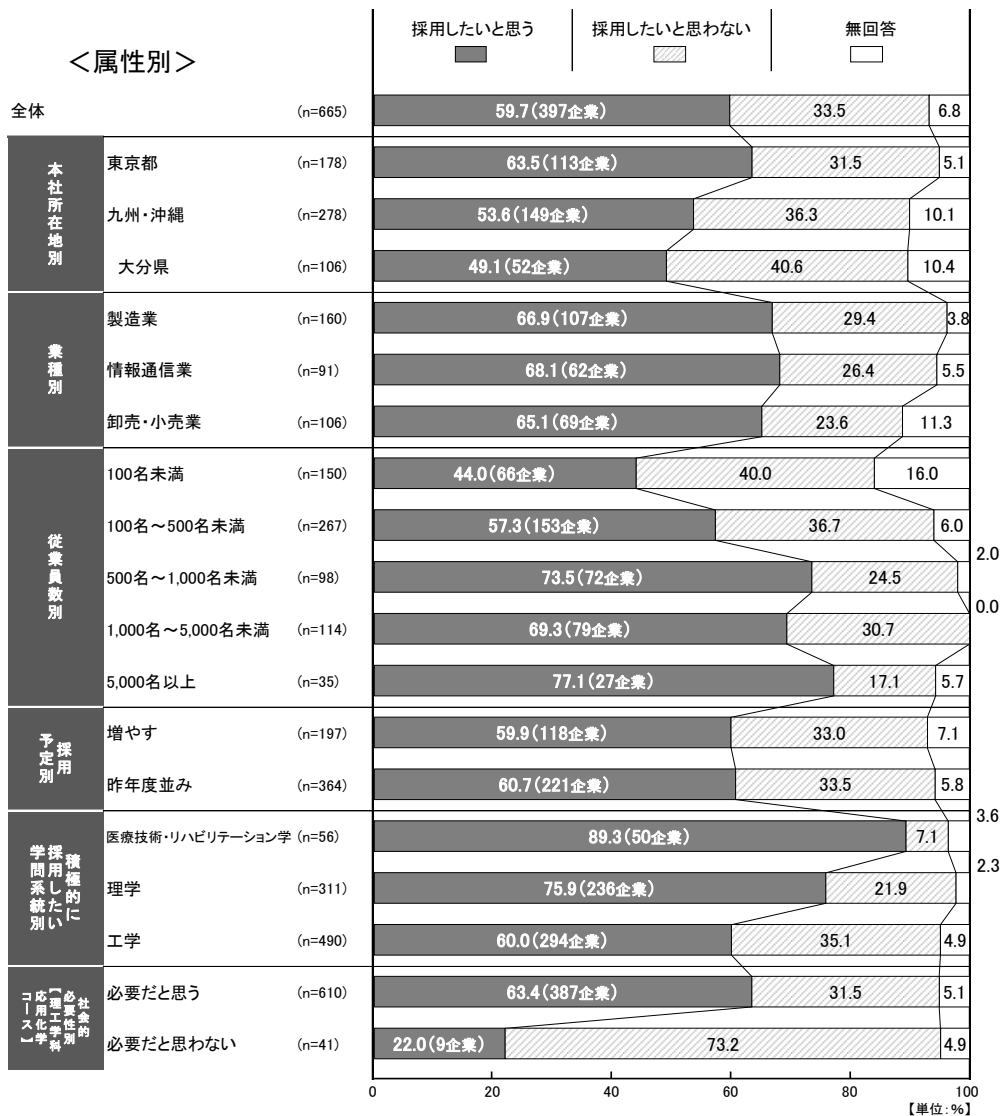
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	⇒	計 ※ 毎年の採用 想定人数 ・
		%								
全体	397	22.2	6.0	1.8	0.0	1.0	0.8	66.0	⇒	469
		名	88	24	7	0	4	3		

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生の採用意向 <属性別>

■理工学部 理工学科 応用化学コース卒業生の採用意向

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)



卷末資料 調查票



企業対象 調査票

大分大学 経済学部 事業共創学科、理工学部に関するアンケート

大分大学では平成29年4月より学部学科構成を変更し、経済学部に新しく「事業共創学科」(仮称)を設置するとともに、現在の工学部を改組し、「理工学部」(仮称)を設置することを構想しています。
このアンケートは企業等に勤務されている採用ご担当者の皆様から、大分大学の新しい学部学科に対するご意見をお伺いし、より充実した大学や学部学科にするための参考資料とさせていただきますので、このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※このアンケートに記載されている内容はあくまで予定であり、内容が変更になる可能性もあります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------------|------------------------------------|
| 1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている | 3. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている |
| 2. 採用の決裁権はあるが、選考にかかわっていない | 4. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある |

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業 | 6. 運輸業 | 11. 医療・福祉 |
| 2. 建設業 | 7. 卸売・小売業 | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業 | 8. 金融・保険業 | 13. サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業 | 14. その他 |
| 5. 情報通信業 | 10. 飲食店・宿泊業 | () |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均

名程度

Q6. 貴社・貴団体の平成28年度の採用予定数は、平成27年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|--------|------------|
| 1. 増やす | 3. 減らす | 5. 採用予定なし |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 | 6. 見送り(中止) |

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|------------------------|----------------------|---------------------|
| 1. 文学 (歴史学、哲学など含む) | 7. 社会福祉学 | 12. 薬学 |
| 2. 心理学 | 8. 教員養成・教育学 | 13. 医療技術・リハビリテーション学 |
| 3. 語学・国際関係学 | 9. 生活科学 | 14. 理学 |
| 4. 法学 (政治学など含む) | (食物・栄養学、被服学、児童学など含む) | 15. 工学 |
| 5. 経済・経営・商学 | 10. 医学・歯学 | 16. 農・水産学 |
| 6. 社会学 (観光学、マスコミ学など含む) | 11. 看護学 | 17. その他() |

企業対象 調査票

大分大学では、平成29年(2017年)4月に、
経済学部に新しく「**事業共創学科**」(仮称)を設置し、
 現在の工学部を改組し「**理工学部**」(仮称)を設置することを構想しています。
 ※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください※

Q8. 新しい「**事業共創学科**」(仮称、設置構想中)を含めた、大分大学の**経済学部**と、
 「**理工学部**」(仮称、設置構想中)の各学科・コースには、以下のような特色があります。

貴社・貴団体(ご回答者)から見て、これらの特色をもった学科・コースは、
 これからの社会にとって必要だと思われますか。

(それぞれの特色ごとに、あてはまる番号1つに○)

		必要だと思う	必要だと思わない
	例. ○○である。	→ ①	2
経済学部	<経済学科> A. 経済社会の諸現象について、歴史的・国際的背景を理解し、理論的に把握できる経済学的な考え方を身につけ、実証的・政策的観点から踏まえて諸課題の解決に貢献できる、グローバル化された経済社会で活躍できる人材を養成する。	→ 1	2
	<経営システム学科> B. あらゆる企業に通底する広範な経営学の知識を身につけることにより、企業経営上の課題に取り組み、適切な解決策を提案できる実践力を備えたビジネス人材を養成する。	→ 1	2
	<地域システム学科> C. 地域の経済社会や行政・法制度に関わる知識を十分に備え、グローバルな諸問題を総合的に理解し、地域社会の再生・活性化に資する方策を具体的かつ説得的に示すことができる人材を養成する。	→ 1	2
	<事業共創学科> D. 商品・サービスの創造等による企業経営上の革新や、行政・NPO等による社会事業創造等の課題解決について、新たな価値創造(イノベーション)が求められる社会経済状況を理解した、組織の中でイノベーション強化に携わる人材を養成する。	→ 1	2
理工学部	<工学科 機械コース> E. 物理学の基礎に基づく最先端の機械工学とエネルギー・環境科学等を学び、高効率で環境低負荷な自動車、ロボットなど機械関連の設計・開発ができる技術者・研究者を養成する。	→ 1	2
	<工学科 電気電子コース> F. 数学と物理の理学と電気電子工学を融合的に学び、電気エネルギーと電子情報工学の分野に関する基礎から応用までの理論や技術を修得するとともに、実験・演習による技術の体得、さらには数理的な思考方法もできる創造性と専門性を備えた電気系技術者・研究者を養成する。	→ 1	2
	<工学科 福祉メカトロニクスコース> G. 理学系基礎に強く、数理モデル構築力および高度シミュレーション技術を習得するとともに、機械工学、電気工学を基盤として、先端のメカトロニクス、ロボティクス、サイバネティクス分野を応用した高度福祉社会に貢献できるメカトロニクスおよび福祉工学系技術者・研究者を養成する。	→ 1	2
	<工学科 建築学コース> H. 物理学の基礎に基づく最先端の建築構造・材料施工・環境工学と建築設計・都市計画等を学び、安全でサステナブルな建築とまちづくりに貢献できる建築士・技術者・研究者を養成する。	→ 1	2
	<理工学科 数理学コース> I. 論理的思考力と発見的創造力をあわせもち、数理的知識・推論を活用して問題解決に寄与するとともに、次の世代の発展にも貢献できる科学者、技術者、教育者、研究者を養成する。	→ 1	2
	<理工学科 知能情報システムコース> J. 数理的思考に基づいて事象をモデル化し、計算機による高度なシミュレーションや新たなシステムを自立的にデザイン・構築することができる、国際的に通用する技術者、研究者を養成する。	→ 1	2
	<理工学科 自然科学コース> K. 総合的な自然科学の基礎知識と活用能力をもち、それを理工学的視点から地域社会の発展に応用することができる科学者、技術者、教育者を養成する。	→ 1	2
<理工学科 応用化学コース> L. 基礎化学の知識と物質・材料化学および生物化学の専門知識・技術を有し、それらを活用する能力をもち、地域・企業から地球環境に亘るさまざまな課題解決に生かすことができる技術者・研究者を養成する。	→ 1	2	

※上記D～Lの特色は現在構想中のものであり、変更になる可能性もあります。

企業対象 調査票

Q9. 貴社・貴団体では、大分大学の以下の学科・コースを卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれの学科・コースごとに、あてはまる番号1つに○)

		採用したいと思う	採用したいと思わない
経済学部	経済学科 →	1	2
	経営システム学科 →	1	2
	地域システム学科 →	1	2
	事業共創学科 →	1	2
理工学部	工学科 機械コース →	1	2
	工学科 電気電子コース →	1	2
	工学科 福祉メカトロニクスコース →	1	2
	工学科 建築学コース →	1	2
	理工学科 数理科学コース →	1	2
	理工学科 知能情報システムコース →	1	2
	理工学科 自然科学コース →	1	2
理工学科 応用化学コース →	1	2	

Q10. Q9でいずれかの学科・コースの卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科・コースを卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。

現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。

(「1. 採用したいと思う」と回答されたそれぞれの学科・コースについて、あてはまる番号1つに○)

		1名	2名	3名	4名	5～9名	10名以上	人数は未確定
経済学部	経済学科 →	1	2	3	4	5	6	7
	経営システム学科 →	1	2	3	4	5	6	7
	地域システム学科 →	1	2	3	4	5	6	7
	事業共創学科 →	1	2	3	4	5	6	7
理工学部	工学科 機械コース →	1	2	3	4	5	6	7
	工学科 電気電子コース →	1	2	3	4	5	6	7
	工学科 福祉メカトロニクスコース →	1	2	3	4	5	6	7
	工学科 建築学コース →	1	2	3	4	5	6	7
	理工学科 数理科学コース →	1	2	3	4	5	6	7
	理工学科 知能情報システムコース →	1	2	3	4	5	6	7
	理工学科 自然科学コース →	1	2	3	4	5	6	7
理工学科 応用化学コース →	1	2	3	4	5	6	7	

※裏面へ続く→

企業対象 調査票

Q11. 大分大学の経済学部で、新しく構想している学科の名称を「事業共創学科」(仮称)とすることについて、あなたご自身のお考えに近い番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 育成する人材に関心をもてる名称である | 4. わかりにくい |
| 2. 社会的要請を現している | 5. その他 |
| 3. 時代のニーズに合った名称である | () |

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～



経済学部にて事業共創学科を新設します。 工学部は理工学部にて再編し、 工学部4コースと理工学部4コースで 専門を学びます。

学部学科再編のねらい

大分大学は、グローバル化や少子高齢化等の社会経済の急激な構造的変化に直面する中で、地域活性化の中核的拠点として、時代や社会の要請及び学問の発展に対応した人材を育成するため、本学の強み・特色を最大限に活かした教育研究組織の見直しを行い、学部学科を再編します。

学部学科再編の概要（設置構想中）

※（ ）内は入学定員です。経済学部では、入試は学部を単位としており、各学科への所属は入学後の進級時からとなります。

経済学部 (305名)	→	経済学部 (290名)
経済学科……………(130名)		経済学科……………(90名)
経営システム学科……………(130名)		経営システム学科……………(80名)
地域システム学科……………(45名)		地域システム学科……………(80名)
		NEW 事業共創学科……………(40名)

※（ ）内は入学定員です。理工学部では、コース単位で募集し、入学時に各学科・コースに所属します。

工学部 (370名)	→	理工学部 (385名)
機械・エネルギーシステム工学科 (80名)		工学科 (235名)
電気電子工学科……………(80名)		機械コース……………(75名)
知能情報システム工学科……………(70名)		電気電子コース……………(75名)
応用化学科……………(60名)		福祉メカトロニクスコース……………(35名)
		建築学コース……………(50名)
		理工学 (150名)

福祉環境工学科	数理科学コース……………(15名)
建築コース……………(50名)	知能情報システムコース……………(65名)
メカトロニクスコース……………(30名)	自然科学コース……………(15名)
	応用化学コース……………(55名)

※ 記載の内容は、現在構想中のものであり、今後変更する可能性があります。

入学時に必要な費用

入学時に必要な費用は、入学金282,000円、授業料(前期分)267,900円(ただし、後期分を含めて535,800円を一括納付することも可)です。
これに傷害保険料等の各学部の諸会費50,000円～100,000円が必要で、
なお、入学金・授業料が改定された場合は、新しい費用が適用されます。

初年度納付金の目安

282,000円(入学金)+535,800円(授業料)	計817,800円
その他会費が年間約10万円かかります。	

Data-1 初年度納付金の比較

大分大学	公立大学 ^{※1}	私立大学 ^{※2}
文系	817,800円	935,578円
理系	1,149,246円	1,496,044円

※1 文部科学省「平成26年度私立大学等入学金・入学金に相当する平均額」(私立大学)の平均額
※2 文部科学省「平成25年度私立大学等入学金・入学金に相当する平均額」(私立大学)の平均額

奨学金制度

奨学金には、日本学生支援機構の奨学金と、地方公共団体や民間奨学金団体等の奨学金があります。日本学生支援機構の奨学金については、入学前に高校にて予約採用となる制度と、入学後に新規に大学で申請する制度があります。

入学金免除・徴収猶予と授業料免除

経済的理由により入学金・授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀な方、または学費負担者が死亡した場合等、特別な事情がある学生には、入学金免除・徴収猶予と授業料免除の制度があります。

入学金・授業料奨学融資制度

本学独自の制度で、大学が指定する地元金融機関から融資を受けることができる制度で入学金と授業料が融資の対象となります。

Access Map



大分大学総務部企画課 〒870-1192 大分市大字巨野原700番地
TEL 097-554-7787 (ダイヤルイン) <http://www.oita-u.ac.jp/>



大分大学は、2017年4月
学部学科の再編を構想しています。

記載の内容は現在構想中のものであり、今後変更する可能性があります。



新しくなる大分大学「経済学部」、「理工学部」の概要

記載の内容は、現在構想中のものであり、今後変更する可能性があります。

経済学部	学ぶ内容	達成する人材像	代表的な科目	想定される進路	類似する学部・学科
経済学科 (定員90名)	家計、企業、政府など経済主体の行動が生み出す経済現象、およびそれら相互の関係を分析する。	経済社会の諸現象について、歴史的・国際的背景を理解し、理論的に把握できる経済学的な考え方を身につけ、実証的・政策的観点を踏まえ、課題の解決に貢献できる。グローバル化された経済社会で活躍できる人材を養成します。	初級マクロ経済学 政治経済学 世界経済論 開発経済論 財政学 社会政策論	金融業：地方銀行／保険会社 小売業 製造業：自動車／輸送機器 運輸業：都市交通 公務：県・市町村／警察官、 ／国税専門官	
経営システム学科 (定員80名)	企業の経営組織、管理技術、財務分析、人事労務管理、情報処理、会計報告などの科目を学習し、広く経営活動を理解する。	あらゆる企業に通底する広範な経営学の知識を身につけることにより、企業経営上の課題に取り組み、適切な解決策を提案できる実践力を備えたビジネス人材を養成します。	経営学 経営組織論 企業ファイナンス論 会計学 上級簿記 実践経営分析論	金融業：都市銀行／証券会社 卸売業 製造業 情報通信業 公認会計士 税理士 中小企業診断士	
地域システム学科 (定員80名)	地域経済、法律、行政、福祉など住民の生活領域を総合的・学際的に学ぶ。また、異文化間コミュニケーションと国際相互理解を深める実践的な学修を行う。	地域の経済社会や行政・法制度に関わる知識を十分に備え、グローバルな課題を総合的に理解し、地域社会の再生・活性化に資する方策を具体的なかつ脱得的に示すことができる人材を養成します。	地域経済論 農村発展論 憲法 民法総則 異文化間コミュニケーション論	公務：県・市町村／ 裁判所職員／警察官 マスコミ：新聞社 宿泊業 旅行業 不動産業 複合サービス：J.A./日本郵便	
事業共創学科 (定員40名)	企業経営上の革新や、行政やNPO等による地域社会の課題解決について、地域における現場体験を組み込んだ実践的な教育を通じ、基礎から応用・実践まで段階的に学ぶ。	商品・サービスの創造等による企業経営上の革新や、行政・NPO等による社会事業創造等の課題解決について、新たな価値創造(イノベーション)が求められる社会経済状況を理解した、組織の中でイノベーション強化に携わる人材を養成します。	イノベーション マネジメント入門 ベンチャー起業論 シンクタンク研究員 ソーシャル・イノベーション 創出実践ワークショップ サービスマーケティング フィールドワーク	企業内・企業間起業担当 (製品開発・マーケティング・知的財産担当) シンクタンク研究員 起業家／6次産業従事者 NPO・NGO 公務：県・市町村 (産業・地域振興担当)	山口大学 経済学部 経営学科 長崎大学 経済学部 総合経済学科 佐賀大学 経済学部 経営学科

理工学部	学ぶ内容	達成する人材像	代表的な科目	想定される進路	類似する学部・学科
機械コース (定員75名)	理学の基礎に基づき最先端の機械工学や機械工学に関連したエネルギーに関する教育と研究に加えて、機械システムの開発・設計に必要なメカトロニクスや3D・CAD、シミュレーションなどを学ぶ。	理学の基礎に基づき最先端の機械工学や機械工学に関連したエネルギーに関する教育と研究に加えて、機械システムの開発・設計に必要なメカトロニクスや3D・CAD、シミュレーションなどを学ぶ。	流体力学 熱エネルギー工学 メカトロニクス	自動車／航空機／造船／鉄道／重工業／エネルギー／電機／産業用ロボットなど (取得できる・H1H2の資格) 高校教員(工業)／技術士補	九州大学 工学部 機械航空工学科 熊本大学 工学部 機械システム工学科 長崎大学 工学部 機械工学科
電気電子コース (定員75名)	電磁気学や電気回路を基礎として、低炭素社会の基理やエネルギー利用の高効率化に向けた電磁応用デバイス、情報エレクトロニクス分野の将来を担うナノ・量子エレクトロニクス技術や次世代フォトニックネットワークなどを学ぶ。	数学と物理の理学と電気電子工学を統合的に学び、電気エネルギーと電子情報工学の分野に関する基礎から応用までの理論や技術を修得するとともに、実験・演習による技術の体得、さらには、合理的な思考方法もできる創造性と専門性を備えた電気系技術者・研究者	電気回路 電気電子制御工学 電気電子物性工学	電力／電機／鉄鋼業／自動車／プラント／通信／公務員／教員／研究者など (取得できる・H1H2の資格) 高校教員(工業)／電気主任技術者／無線従事者／技術士補	熊本大学 工学部 情報電気工学科 鹿児島大学 工学部 電気電子工学科 佐賀大学 理工学部 電気電子工学科
福祉メカトロニクスコース (定員35名)	QOL(Quality of Life)向上を目的としたメカトロニクス、ロボット工学、サイバネティクスなどを基礎として、福祉マイナートを工芸技術について学ぶ。	理学系基礎に強く、数値モデル構築力および高度シミュレーション技術を習得するとともに、機械工学、電気工学を基礎として、先端のメカトロニクス、ロボティクス、サイバネティクス分野を応用した高度福祉社会に貢献できるメカトロニクスおよび福祉工学系技術者・研究者	バイオメカニクス ロボット工学 複合システム解析	機械、電機、半導体、化学系製造業、自動車、福祉、医療機器等の設計、制御系技術者／自動車系、電機系企業、健康機器系企業等のシステム開発、計測制御系系技術者、介護機器、健康機器の開発や評価が可能な技術者など	新潟大学 工学部 福祉人間工学科 九州工業大学 工学部 機械知能工学科 九州工業大学 工学部 バイオロボティクス工学科
建築学コース (定員50名)	学術・技術・芸術の総合である建築に関する最先端の教育と研究に加えて、建築のイノベーションに必要な理学的基盤やCAD、シミュレーションなどを学ぶ。	理学の基礎に基づき最先端の建築構造・材料施工・環境工学・建築設計・都市計画等を学び、安全でサステイナブルな建築とまろづくりに貢献できる建築士・技術者・研究者	住居論 福祉環境計画 建築構造設計	総合建設業／設計事務所／住宅／建築設備／建材／公務員／研究者など (取得できる・H1H2の資格) 高校教員(工業)／一般建築士*1*2/ 二級建築士及び木造建築士*2/ 技術士補	熊本大学 工学部 建築学科 鹿児島大学 工学部 建築学科 山口大学 工学部 感性デザイン工学科
数理科学コース (定員15名)	数学(代数学、幾何学、解析学、離散論)における基礎能力を確立しつつ、真分野への展開や実社会での数理的課題解決につながる統計科学などの応用数学を学ぶ。	論理的思考力と発見的創造力をあわせもち、数理的知識・推論を活用して問題解決に寄与するとともに、次の世代の発展にも貢献できる科学者、技術者、教育者、研究者	数理科学概論 解析学発展 統計科学	ソフトウェア／情報処理／教育／流通／金融／保険など (取得できる・H1H2の資格) 中学、高校教員(数学)	熊本大学 工学部 数理工学科 鹿児島大学 理学部 数理情報科学科 佐賀大学 理工学部 数理科学科
知能情報システムコース (定員65名)	情報科学の基礎から情報・知能工学の広範囲に関する教育と研究、計算機科学を基盤としてコンピュータ、インターネット、プログラミング、情報・知識処理などについて学ぶ。	数理的思考に基づいて事象をモデル化し、計算機による高度なシミュレーションや新たなシステムを自立的にデザイン・構築することができる、国際的に適用する技術者、研究者	人工知能基礎 マルチメディア処理 情報ネットワーク	総合エレクトロニクス／通信／製造 電機／印刷／IT／道橋旅客運送など (取得できる・H1H2の資格) 高校教員(情報)／技術士補	佐賀大学 理工学部 知能情報システム工学科 九州工業大学 情報工学科 知能情報工学科 山口大学 工学部 知能情報工学科
自然科学コース (定員15名)	生命科学、物質科学、地球科学など幅広い自然科学の理論と地域社会の発展に資する科学技術を総合的に学ぶ。	総合的な自然科学の基礎知識と活用能力をもち、それを理工学視点から地域社会の発展に応用することができる科学者、教育者	物理学実験 有機化学概論 応用生物化学 地球科学	化学・材料系企業／食品系企業／電機・半導体系企業／建設・環境コンサルタンツ／公務員／研究者 (取得できる資格) 中学、高校教員(理科)	鹿児島大学 理学部 地球環境科学科 福岡大学 理学部 地球科学科 岡山大学 環境理工学部 環境管理工学科
応用化学コース (定員55名)	原子・分子の視点から、化学(物理化学、有機化学、無機化学、分析化学)を土台にした、物質変換、エネルギーの変換や貯蔵、高性能・高機能材料、食品科学、生命科学、産業物質資源循環などに関する知識を習得し、ものづくり技術を学ぶ。	基礎化学の知識と物質・材料化学および生体化学の専門知識・技術を有し、それらを活用する能力をもち、地域・企業から地球環境に亘るさまざまな課題解決に生かすことができる技術者・研究者	物理化学 食品衛生化学 分析化学	石油化学系企業／化学材料系企業／食品産業／環境調剤系企業／エレクトロニクス・半導体系企業／研究者／公務員／教員 (取得できる・H1H2の資格) 高校教員(理科)／臨海物産取組責任者・中核危険物取扱者*2	熊本大学 工学部 物質生命化学科 鹿児島大学 工学部 環境化学プロセス工学科 佐賀大学 理工学部 機能物質化学工学科

*1 一定期間の実務経験が必要です。 *2 受験資格